

平成31年度 年間授業計画 (学カスタンダード対象科目用)

教科・科目・単位	理科・生物基礎・2単位	対象学年・組	3年3組・4組(食品科)
教科書(出版社)	改訂 生物基礎(東京書籍・生基311)	副教材など	スクエア最新図説生物neo(第一学習社)
教科担任	植松敏夫		改訂ニューステップアップ生物基礎

1 科目の目標

年間		
1学期	中間考査まで	生物の共通性について学び、細胞の概念を理解する。顕微鏡の正しい使い方ができる。
	1学期末まで	代謝におけるATPや酵素の役割について学び、代謝の例として光合成と呼吸を理解する。
2学期	中間考査まで	DNAの構造と役割について学び、その応用について考えることができる。
	2学期末まで	恒常性の仕組みについて学び、ヒトの病気に対する理解や免疫への応用について考えることができる。
3学期	学年末まで	多様な環境におけるバイオームを理解し、その環境と生物群集のかかわりについて考えることができる。

2 学習の目標

関心・意欲・態度	科学的事象に関心を持ち、自ら考えることができる。
思考・判断・表現	いろいろな内容から論理的に考え、自らの意見を表現できる。
技能	自らの意見を適切な方法を用いて発表できる。また、実験において器具等の操作が正しく行える。
知識・理解	授業の内容について十分に理解できる。

3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	中間考査まで	生物の多様性と共通性	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言により評価する。	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やノートにより評価する。	14	
	期末考査まで	細胞とエネルギー	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言により評価する。	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やノートにより評価する。	15	
2学期	中間考査まで	遺伝情報とそのはたらき	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言により評価する。	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やノートにより評価する。	16	
	期末考査まで	生物の体内環境の維持	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言により評価する。	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やノートにより評価する。	15	
3学期	学年末考査まで	生物の多様性と生態系	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言により評価する。	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やノートにより評価する。	10	

4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期(中間)・(期末) 2学期(中間)・(期末) 3学期(期末)
作品法	(実習結果) (レポート) (ワークシート) 他()
観察法	授業中の発言・挙手など 他()
その他	

5 その他